

平成27年度国産食肉等新需要創出成果報告会開催計画

公益財団法人日本食肉消費総合センター

1. 開催趣旨

高齢化や健康志向の高まりを背景に、適度な脂肪交雑をもつ牛肉を嗜好する消費者も増えつつあるが、脂肪交雑以外の品質の客観的な評価手法が確立されていないこともあり、食肉卸売市場における商品としての評価が脂肪交雑に偏っていること等から、こうした消費者の嗜好の変化に対応した牛肉需要の創出が進んでいないのが現状である。また、牛肉以外の食肉等についても新たな商品価値に着目した取組を推進することにより国産品の需要拡大を図っていくことが重要な課題となってきた。

このため、生産、加工、流通及び販売業者が一体となり、脂肪交雑以外の品質に着目した国産牛肉、国産豚肉、国産鶏肉、内蔵（以下、「国産食肉等」という。）のバリューチェーンを構築して顧客視点に立った新需要を創出するため、「国産食肉等新需要創出緊急対策事業」（独立行政法人農畜産業振興機構補助事業）が実施されている。

この成果報告会は、当事業実施団体が行った取組と成果を相互に情報交換し検討することにより、国産食肉等の新しい需要創出推進に資することを目的として開催する。

2. 開催日時・場所

日時：平成28年2月22日（月） 13:00～17:00

場所：（独）農畜産業振興機構 北6階大会議室

東京都港区麻布台2-2-1 麻布台ビル

3. 内容

(1) 講演 「国産食肉等新需要創出緊急対策事業の実施状況について（仮題）」

安部 新一 先生 【宮城学院女子大学教授（当事業優良事例調査委員会座長）】

(2) 成果の発表・・当事業実施団体（10団体）の取組報告と検討・助言

（一社）全国肉用牛振興基金協会 大阪食肉事業協同組合 （一社）日本食鳥協会
全国食肉輸出入事業協同組合連合会 大阪府同和食肉事業協同組合連合会
全国農業協同組合連合会高知県本部 北海道チクレン農業協同組合連合会
首都圏食肉卸売業者協同組合 ホクレン農業協同組合連合会 全国食肉事業協同組合連合会

(3) 意見交換

(助言者)

安部新一氏（宮城学院女子大学教授）、菊地昌弥氏（東京農業大学准教授）

岸上光克氏（独立行政法人水産大学校講師）、佐々木悟氏（旭川大学名誉教授）

神代英昭氏（宇都宮大学准教授）、野口敬夫氏（東京農業大学准教授）

細野賢治氏（広島大学准教授）

農林水産省食肉鶏卵課担当官、独立行政法人農畜産業振興機構事業担当者

4. 参集範囲

事業実施団体関係者、当事業調査委員、農林水産省、独立行政法人農畜産業振興機構
報道関係者、食肉生産流通販売関係者、その他